行政視察報告

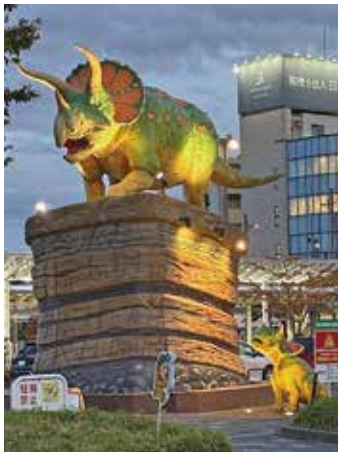
都市建設常任委員会

11月4日、福井県福井市
「福井駅周辺整備について（ほこみちを含む）」

北陸新幹線は、昭和48年11月に整備計画が決定され、福井市は令和6年3月の福井駅開業に向けて、福井駅周辺のまちづくりに取り組んできました。

鉄道の一定区間を連続して高架化し、東西交通の円滑化を図った福井駅付近連続立体交差事業のほか、駅付近の土地利用の高度化を図り、人が集まる拠点とするため、福井駅周辺土地区画整理事業を実施し、路面電車停留場、バス停留所を駅前広場に集約することで、福井駅の交通拠点化を実現しました。

また、令和4年10月に「県都グランドデザイン」を策定し、恐竜プロモーション、県都まちなか再生ファンド、ほこみちの取り組み、公共空間を活用したにぎわい創出など3つの領域、9つの目標があり、官民協働でまちづくりに取り組んでいます。



福井駅東口に設置された恐竜のオブジェ

11月5日、富山県富山市
「富山駅周辺整備を含むコンパクトなまちづくり」

近年、急速な少子高齢化社会の進展や本格的な人口減少、CO_2排出量の増大など、都市を取り巻く諸課題への対応が必要となる中、富山市は公共交通沿線にさまざまな都市機能が充実・集積した「コンパクトなまちづくり」を推進し、全国初となる本格的なＬＲＴ「富山ライトレール」や市内電車の環状線化をはじめとした公共交通の活性化、その沿線地区への居住促進、さらには全天候型の多目的広場「グランドプラザ」の整備など、中心市街地の活性化に積極的に取り組んでいます。

また、令和3年度に富山駅南北一体的なまちづくりプラットフォームを発足させ、令和4年度には未来ビジョン「トヤマチ∞ミライ」を策定し、富山駅を中核としたにぎわいのネットワークづくりを推進しています。



議会運営委員会

10月29日、兵庫県芦屋市
「議会BCP※、議会機能継続訓練」

計画策定の経緯については、芦屋市議会基本条例の規定や災害で議会が機能しなくなったときに、多くの事項が専決処分とならないよう、早急に議会機能を復旧させる必要があるのではないかという議員からの意見を受け、阪神淡路大震災から25年という節目の年になる令和元年度に議会ＢＣＰ検討ワーキンググループを立ち上げ、議会ＢＣＰの検討を始めたとのことでした。

また、現在、議会ＢＣＰ検討ワーキンググループから名称変更された議会ＢＣＰ検証検討会議において、計画に基づく議会機能継続訓練の訓練内容や計画の見直しについて協議を行い、少なくとも年に1度は議会機能継続訓練を行うとともに、4年に1度は必ず計画の見直しを行っているとのことでした。



※BCP：業務継続計画

10月30日、静岡県磐田市
「議会BCP、オンライン委員会」

策定された計画は、災害等の発生時においても、平時に必要とされる議事機関としての役割を果たし、議案の審議および審査を行うことなどを継続して担い、その責務を果たすために必要な組織体制や議会・議員の役割を定めており、磐田市議会では、議会ＢＣＰをこれまで2回発動しているとのことでした。そのうち、令和4年台風第15号の発生時には、磐田市議会災害等対策会議を設置し、当局との情報共有や各議員からの情報収集を行うとともに、議会運営委員会において委員会の延期や委員会審査未了の場合は継続審査とする方針を協議するなどの対応を行ったとの説明がなされました。

また、実効性のある計画にするため議会ＢＣＰに基づいた訓練や定期的な計画の見直しを行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や災害等の非常時に対応するため、オンライン委員会開催の環境整備、研修会を行っているとのことでした。

